

歯科材料 05 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科裏層用高分子系材料 (70863002)

ジーシー フジライニング LC

【禁忌・禁止】

- ・ グラスアイオノマーセメント、メタクリレート系ポリマー、メ
タクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の
既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・ 併用禁忌：相互作用の項参照。

【形状・構造及び原理等】

形状*

- ・ 粉末：10 g
- ・ 液：8 g (6.8 mL)

主成分

- ・ 粉末：フルオロアルミノシリケートガラス
- ・ 液：メタクリル酸エステル、ポリアクリル酸、蒸留水

原理

- ・ 粉末と液の混合によりペースト状になり、フルオロアルミ
ノシリケートガラスとポリカルボン酸水溶液との反応、お
よびメタクリレート系モノマーの重合により硬化する。

特性*

項目	規格	参考値
操作時間	1 分 30 秒以上	3 分
光硬化深度	1 mm 以上	1.6 mm
X 線造影性	同じ厚さのアルミニウム以上	適合

※試験方法 JIS T 6609-2 による

【使用目的又は効果】

窩洞の裏層に使用する。

【使用目的又は効果に関連する使用上の注意】

サホライドや知覚過敏抑制材を塗布した歯面への使用では、歯質
と十分な接着力が得られない場合があるので、留意して使用する
こと。

【使用方法等】

- 1) 窩洞形成：軟化象牙質を除去し、窩洞形成を行います。
- 2) 窩洞の洗浄及び乾燥：通法に従い、注水下で十分に洗浄し、
乾燥します。
- 3) 粉液の比率：標準稠度の粉液比は、粉末 1.4 g に対し液 1.0 g
です。パウダースプーンすり切り一杯分の粉末に対し、液 1
滴で、ほぼこれに相当する比率が得られます。
- 4) 練和：練和紙上に所定の粉と液を採取し、プラスチックヘラ
を用いて練和します。粉末は 2 等分し、最初の区分を液に加
えて 5～10 秒練和し、残りの区分を液に加えて合計 10～15
秒程度で練和します。
- 5) 裏層：練和したセメント泥を裏層用充填器等を用い、窩底部
に塗布します。
- 6) 光重合：歯科重合用光照射器により照射し、重合します。*

< 歯科重合用光照射器と光照射時間 >*

歯科重合用光照射器	照射時間	
ハロゲンランプ 歯科重合用光照射器	30 秒	窩洞が深い場合 40 秒
L E D 歯科重合用光照射器 (700 mW/cm ² 以上) ※1	30 秒	窩洞が深い場合 40 秒
L E D 歯科重合用光照射器 (700 mW/cm ² 以上及び 2000 mW/cm ² 以上の併用) ※2	10 秒	窩洞が深い場合 15 秒

- ・ ハロゲンランプ歯科重合用光照射器：有効波長が 400～515 nm
- ・ L E D 歯科重合用光照射器：光源が青色 LED で発光スペクトル
のピークトップが 450～480 nm

※1：例えば

- G-ライト プリマ II Plus 10 モード (10 秒×3 回)
- スリムライト Lowモード (10 秒×3 回)

※2：例えば

- G-ライト プリマ II Plus F5 モード (5 秒×2 回)
- スリムライト Ramp upモード (5 秒×2 回)

- 7) コンポジットレジン充填の時期：裏層後、すぐに通法に従っ
てエナメル部分の酸エッチングを行い、水洗、乾燥して、コ
ンポジットレジン充填へ移行します。

【使用方法等に関連する使用上の注意】

- 1) エアーシリンジ等を使用して歯面の乾燥を行う場合には、事
前にオイルミスト等接着阻害物質が噴射されていないこと
を確認してから使用すること。[接着阻害物質により接着力
が低下するため]
- 2) 粉末採取の際は、キャップ部分を指で持ち、もう一方の手で
軽く瓶を振って粉をほぐし、パウダースプーンをなるべく垂
直に立て、すり切って採取すること。[正しく計量するため]
- 3) 液容器は、最初の 1～2 滴は量が少ないことがあるので、3
滴目から使用すること。
- 4) 液の計量は、液容器をなるべく垂直にし、ノズルを練和紙か
ら離して滴下すること。[正しく計量するため]
- 5) 本材は、標準粉液比 (粉/液=1.4 g/1.0 g) で使用するこ
と。[標準粉液比以外では本材の特性が得られないため]
- 6) 本材は、室温が高くなると操作時間が短くなり、室温が低く
なると長くなるので注意すること。[本材の硬化反応は温度
の影響を受けるため]
- 7) 硬化深度を考慮し、2 mm 以上の厚さで充填する場合は、積
層法で使用する。
- 8) 光強度の弱い照射器を使用した場合、十分な硬化が得られな
いことがあるので、光強度の強い照射器を使用すること。
- 9) アルギン酸塩印象材、寒天印象材での印象操作は、セメント
表面に未硬化な層があると印象面が荒れる場合があるので、
光照射後水洗・乾燥してから行うこと。
- 10) 塗布に使用した筆等は、患者間で交差使用しないこと。

【使用上の注意】

- 1) 使用注意 (次の患者には慎重に適用すること)
①薬剤、食品、アクセサリ、化学物質等に過敏症の既往歴が
ある患者には、本材及び類似品に対して過敏症歴がなくても
問診を行い、慎重に適用すること。

2) 重要な基本的注意

- ①本材の使用により発疹などの過敏症状を起こした患者には、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けさせること。
- ②本材に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本材を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
- ③液又は練和物は、口腔軟組織や皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。付着したときは、すぐにアルコール綿などで拭った後、流水で洗浄すること。万一目に入った時は、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。
- ④窩洞が深いときは、覆髄材などにより十分な歯髄保護を行うこと。
- ⑤粉末と液の容器は、使用後すぐに密栓すること。特に粉末は、湿気に触れないように注意すること。[吸湿すると硬化しなくなるため]
- ⑥液容器のノズルに付着した液は、湿ったガーゼなどで拭き取ること。[液が付着すると正しく計量できなくなるため]
- ⑦液は光に反応するので、使用後はすぐに密栓すること。[硬化しなくなるため]
- ⑧他の製品と混用しないこと。[本材の特性が得られないため]
- ⑨光照射の際は保護メガネなどを使用し、照射光を直視しないこと。[目を痛める恐れがあるため]
- ⑩本材は、【使用目的又は効果】の項に記載の用途以外には使用しないこと。
- ⑪本材は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
- ⑫本材については、試験による MR 安全性評価を実施していない。
(自己認証による) **

3) 相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）

(1) [併用禁忌]（併用しないこと）

ユージノール系製剤は、本材の硬化・接着を阻害する可能性があるため併用しないこと。[硬化・接着を阻害するため]

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・直射日光、高温多湿を避け、室温で保管する。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。

[有効期限]

本材は、包装に記載の使用期限※までに使用する。

※（例 EXP. 2027-02 は
使用期限2027年 2月 を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】*

製造販売元 : 株式会社ジーシー

住所 : 〒174-8585

: 東京都板橋区蓮沼町 76 番 1 号

主たる設計元 : 株式会社ジーシー

発売元 : 株式会社ジーシー

住所 : 〒113-0033

: 東京都文京区本郷 3 丁目 2 番 14 号

電話番号 : (お客様窓口) 0120-416480